

区立施設の再編整備の背景

■区立施設に関する現在の状況（課題）



児童館再編の取組

- 現在、区内には27の児童館があり、多くの子どもたちが利用していますが、その多くが昭和40～50年代に建設され、施設の老朽化が深刻化しています。
- また、近年、社会状況等の変化により、学童クラブを含む小学生の放課後等の居場所や乳幼児親子の居場所に対するニーズが高まっています。
- こうしたニーズの増加・多様化に伴い、児童館という限られた施設だけでは対応に限界が生じていることから、児童館が担ってきた機能・役割を継承・発展することができるよう、区立施設再編整備計画に基づき、以下のイメージ(4つの方向性)を軸に「児童館再編の取組」=「新しい子どもの居場所づくり」を進めてきました。

【児童館再編のイメージ】

